霧島山(新燃岳)の火山活動解説資料

福岡管区気象台 火山監視・情報センター 鹿児島地方気象台

本日(2日)午前と午後に、気象庁機動調査班(JMA-MOT)が九州地方整備局と共同で上空からの調査を行いました。火口内に蓄積された溶岩の大きさは、前回(2月25日)に行った調査と比較して大きな変化はありませんでした。主に火口内の溶岩の東側の縁辺及び前回の調査で確認された溶岩表面の亀裂から、白色の噴煙が上がっていました。噴煙の高さは火口縁上300mで東に流れていました。

昨日(1日)19時23分に爆発的噴火が発生しました。噴煙等の状況は天候不良のため確認できませんでした。

新燃岳火口から概ね4km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石(火山れき)が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

〇活動概況

・上空からの調査(図1)

本日(2日)午前と午後に、気象庁機動調査班(JMA-MOT)が九州地方整備局と共同で上空からの調査を行いました。火口内に蓄積された溶岩の大きさは、前回(2月25日)に行った調査と比較して大きな変化はありませんでした。主に火口内の溶岩の東側の縁辺及び前回の調査で確認された溶岩表面の亀裂から、白色の噴煙が上がっていました。噴煙の高さは火口縁上300mで東に流れていました。

・噴煙など表面現象の状況(表1)

昨日(1日)19時23分に爆発的噴火が発生しました。噴煙等の状況は天候不良のため確認できませんでした。鹿児島地方気象台と宮崎地方気象台が行った聞き取り調査では、新燃岳から東方向の都城市の一部の地域で少量の降灰が確認されました。

爆発的噴火の発生は2月18日以来です。

・地震や微動の発生状況

2月28日07時33分から振幅の小さな火山性微動が継続しています。火山性地震は、増減を繰り返しながら多い状態が続いています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ(http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/)や気象 庁ホームページ (http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html) でも閲覧することができます。





図1 霧島山(新燃岳) 火口内の状況

- ・火口内に蓄積された溶岩の大きさに大きな変化はありませんでした。
- ・主に火口内の溶岩の東側の縁辺及び前回の調査で確認された溶岩表面の亀裂(黄丸で示した部分)から、白色の噴煙が上がっていました。

- 2 -

表 1 霧島山 (新燃岳) で発生した爆発的噴火の一覧 (2011年3月2日16時00分現在)

No	爆発観測時刻				噴 煙				地震計振幅	空振計 振幅	噴石飛散 距離
									新燃岳南西	湯之野	
	月	Ш	曲	分	色	皇	高さ(m)	流向	$[\mu{\rm m/s}]$	[Pa]	[m]
1	1	27	15	41	灰白色	多量以上	2,500 以上	南東	3,327	39.7	不明
2	1	28	12	47	灰白色	中量以上	1,000 以上	東	773	81.8	1,300
3	1	30	13	57	不明	不明	不明	不明	829	21.7	不明
4	2	1	7	54	不明	多量	2,000	南東	3,767	458.4	3,200
5	2	1	23	19	不明	やや多量以上	2,000 以上	直上	3,541	185.5	不明
6	2	2	5	25	不明	やや多量以上	2,000 以上	北東	3,408	299.6	不明
7	2	2	10	47	灰白色	少量以上	500 以上	東	1,501	86.5	不明
8	2	2	15	53	灰白色	多量	3,000	東	5,306	72.4	1,000
9	2	3	8	9	灰白色	中量	1,500	東	963	26.0	不明
10	2	11	11	36	灰白色	やや多量	2,500	南東	3,410	244.3	不明
11	2	14	5	7	不明	不明	不明	不明	16,517	332.1	不明
12	2	18	18	16	灰白色	やや多量	3,000	南	2,479	31.4	1,000
13	3	1	19	23	不明	不明	不明	不明	2,485	69.6	不明